

支援プログラム（児童支援事業所ぷらみんぽーと 多機能型重症心身障害※児童発達支援）

作成日 2025年 3月 10日

東京リハビリテーションセンター世田谷開設理念	「すべては患者さん・利用者さんのために」を院是・団是とする南東北グループは、地域の皆様とともに、“住み慣れた地域で、生涯いきいきと、安心して暮らせる地域リハビリテーション・ケア体制”の構築をめざします。		
支援方針	発達・発育に遅れのあるお子さんやその保護者を対象に、心身の健やかな成長を図り、日常生活に必要な社会性を育てていくための療育プログラムの提供や相談援助を行う。		
営業日	平日のみ（年末年始12/31～1/3は休業）		
営業時間 （サービス提供時間）	9：30～18：30 (9：30～16：30)	送迎実施の有無	なし
家族支援	<ul style="list-style-type: none">ご家族の子育てに関する悩みや困りごとに対し、相談援助を行っています。ご家族がお子さんの発達や特性についての理解を深めたり、お子さんに合わせた関わり方を学ぶことができるよう情報提供を行っています。		
移行支援	<ul style="list-style-type: none">ご家族に対して、就園や就学に関する情報提供や相談援助を行っています。お子さんに対して、就園や就学を見据えて必要と思われる支援を提供しています。併行利用先である保育園・幼稚園等とお子さんの状態や支援内容等について情報共有をしたり、対応方法等の擦り合わせを行う等必要に応じて連携を図っています。学校にお子さんの様子や支援内容を引き継ぐとともに、就学後必要と思われる支援等について共有するための「就学支援シート」を作成しています。		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none">世田谷区保健センター乳幼児育成相談係や世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」等の関係機関と密に連携しています。世田谷区内の保育園・幼稚園・新BOPを訪問し、職員の方に対して、配慮が必要なお子さんへの対応方法等について助言を行っています。世田谷区内の地域型保育事業所の職員の方を対象に、配慮が必要な低年齢児への関わり方について研修を実施しています。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none">外部研修：事業所に隣接している世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修の中心に外部研修を受講しています。内部研修：高齢者施設・障害者支援（成人）・病院と複合型の施設の強みを活かした15種類の委員会が横断的な研修を行っています。
主な行事等	日々の活動の中で季節に合わせた制作を行っています。 その他、“先輩お父さん・お母さんの話を聞く会”、“就学相談説明会”、センターの行事として“うめとぴあフェスタ”		

支援プログラム（児童支援事業所ぷらみんぽーと 多機能型重症心身障害※児童発達支援）

支 援 内 容

本 人 支 援	健康・生活	<p>健康状態を把握し、健康増進や基本的な生活習慣を獲得できるよう、介入します。</p> <p>てんかん発作やアレルギーなどお子さんごとの疾病に伴う健康状態の変化について看護師が聞き取りを行います。個別支援計画に緊急時の対応について記載し保護者と共有します。</p> <p>お子さんの口腔機能の状態を把握し、必要なサービスのお情報提供等のサポートをします。食具の使い方・身体の姿勢など、ご家庭で実施できる環境整備の方法を提案します。</p>
	運動・感覚	<p>姿勢の崩れやすい・筋緊張が強いお子さんに対し、適切な姿勢が取れるよう環境設定を行います。</p> <p>遊具遊びの中で、姿勢の保持のための介入方法や運動の経験が出来る環境設定について、対応方法を提案します。</p> <p>感覚面での様々な課題に対し、活用できる遊びや運動を提案・提供します。</p>
	認知・行動	<p>色々な運動を経験する中で、自分の身体を知る機会を設けます。</p> <p>追視や注視など、物を目で見て確認し、楽しめる方法を検討します。</p> <p>認知特性・偏りについての理解と対応方法を提案します。</p> <p>行動障害への予防及び対応方法を提案します。</p>
	言語・コミュニケーション	<p>ジェスチャーや指差し、絵カード、写真等を用いて、お子さんにとって分かりやすい方法でコミュニケーションを図っていきます。</p> <p>大人の声かけは、ゆっくり短く端的にはっきりとした口調で行います。</p> <p>表情・瞬き・呼吸など、お子さんの表出方法を理解し返答することで、発信意欲を高めます。</p> <p>選択肢から選ぶなどの機会を作り、自分で決めたことを達成する経験を積み重ねられるよう、介入します。</p>
	人間関係・社会性	<p>アタッチメントの形成を促します。</p> <p>大人を意識できるよう、一緒にブランコやトランポリンに乗る機会を設けます。</p> <p>大人と一緒に遊ぶ経験の中で、貸し借りをする機会を設け、我慢する、譲る経験をします。</p> <p>感情を大人に代弁してもらうことで子ども自身が自分の気持ちに気付く機会を設けます。</p>